

日本共産党 和歌山市会議員

ひめだ高宏ニユース

No. 871
11. 7. 20

すごい!! サッカー女子世界一

サッカーの第6回女子ワールドカップドイツ大会の決勝戦で日本代表(なでしこジャパン)は、世界ランキング7位のアメリカをPK戦で破り、初優勝

6月定例会市議会報告

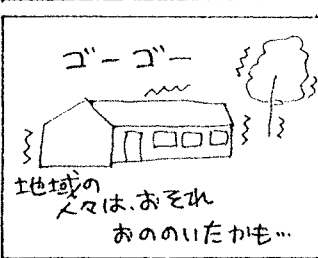
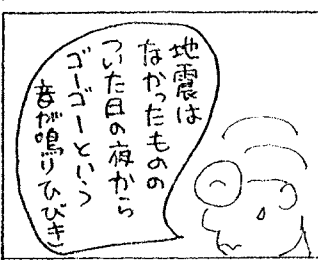
7月11日(月)6月定例会市議会が終りました。最終日のこの日、午後から本会議が始まりました。日本共産党市議団は提案された

日本共産党市会議員団 問題ある3つの議案とは

議案第6号、景観条例の制定は、67年に景観法が制定され、本市が中核市のた

フワフワの人々

<654>



例が適用除外になっているので策定が必要との理由。この景観条例は、別に策定する景観計画と一対になっ

ているとかで、所管の経済文教委員会に策定途上の景観計画案が提出されました。和歌山城周辺を重点地区と定めるその中身は、多額の公金を使ってコンサルに委託し堀端通りと中央通りは50m、けやき大通りは75mを建物の最高高さにする

残すべき景観・整備すべき景観は何かという市民的議論が必要ですが、本条例案がそういう仕組みの器に

なっていないし、そういう意図が感じられないため残念ですが、賛成できません。議案第10号の土地買収は、

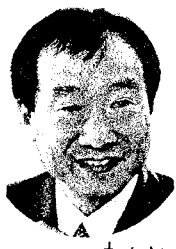
こんにちは

県会議員の
ふじい健太郎です。
(その298)

西ノ庄の「ふ水あいの郷」のハーブ園を広げ駐車場をつくるためのもの。元々、墓地を建設するために土地

約2週間苦しんだ「夏かせ」は、やっと治りましたが、台風6号の襲来でやきもきしています。24日には名草地域のインドマイク宣伝に参加する予定ですので、その際は、よろしくお願ひします。話は戻りますが、10日の日曜日、名草山のイノシシ被害の実態調査のため三葛地区を訪れました。昨年半年間に名草山で163頭ものイノシシが捕獲され、山全体では800頭以上いるのでは

とも言われています。みかん農家の人はイノシシのために消毒や肥料をしているようなもの。お寺の住職さんは境内に入ってきて墓まで荒らさる。自治会の役員さんたちも頭を痛められています。大橋市長は「名草山には相当数のイノシシがいると認識しており、対策を見直し問題解決にあたりたい」と共産党・森下議員の質問に答えられています。県や市への交渉を強め、早期解決をめざしたいと思ひます。



ふじい健太郎 前県議員

みなさんの原意をまっすぐ市政に届けます。

開発公社が先行取得したものの地元の反対で墓地計画を断念したという経緯があるとしても、約1億7千万円の土地に造成費用が約8億円、利息が4億円、総額で14億8千万円もの投資には賛成できません。

議案第13号、和歌山県住宅新築資金等貸付金回収管理組合規約の変更は、組合議員の定数を五人から八人にするもの。旧同和対策としての貸付金の回収は、貸付窓口の市が自らの責任で

努力すべく、その責任を放り出す回収管理組合への丸投げでは回収が進まない。08年の設立時に党議員団

岩手・陸前高田市へ 救援隊報告その1

7月12日(火)の朝8時過ぎに日本共産党北部地区委員会から2台の車で和歌山を出発、前泊地の新潟県燕三条のホテルに着いたのは18時頃でした。7人乗りの乗用車には、海南の河野・橋爪市議と下津の斎藤さん、高齢協の福田さんと決

か指摘したとよりの状況となっていて。管理組合と市の姿勢が問われ、賛成できません。

田さんが、ワゴン車には、前副委員長と井本常任、松坂市議と私、ひめだも支援物資が乗っていました。私たち9人は、陸前高田市の被災者救援活動を行うための救援隊だったので。支援物資の重みと私の体重がスピードに関係するのが、

こどもたちは 日本共産党



日産自動車の執行役員がテレビで「企業は五重苦+電力不足だ。五重苦とは法人税が高い、人件費が高い」。原発が止

まり、電気料金が高くなる。企業が海外に出る。だから原発の再稼働を早くと言っているのです。

実際は、法人税はソニーが13%、パナソニック、住友化学は17%です。大企業が海外に出る理由は「市場に近い」「安い労働力」などで、税金ではありません。

原発を早く動かせという人は、4万5千人以上の福島県民が県外に避難しているのをどう見ているのでしょうか。

東日本大震災や原発事故を機に、大企業の構想がこの国をむしろ人気が衰えていること、多くの国民が気づき始めています。

常にワゴン車が遅れました。翌日朝、岩手県一関市にある日本共産党両磐地区委員会に向かいました。途中、内島と兵庫の県警が団体で宮城県に向かっているのを聞くと2週間くらい応援に行くこと、昼食時のSAは大混雑でした。

一関インターを降り、まが陸前高田市の救援センターへ。ここは、共産党中里市政を継ぐ「市民の声」が運営するセンターです。藤倉市議が責任者で、7月前半は秋田、後半は大阪、8月は和歌山と、半月単位で3県から12月まで常駐者が送られます。

陸前高田市(地元ではタカタと呼ぶ)の人口は23万人、読者の投稿。

164人で死者・行方不明は2182人、家屋の倒壊は3341戸。大津波で市内は壊滅し何もなくなつた状態です。道路はほぼ復旧してはいますが、焼け野原みたいな広い空き地の所々に鉄くずが山と積まれ、残った建物には窓がなく、あちこちで車がペシャンコになっています。予想していた悪臭はまったくありません。タカタの支援センターの活動は、①地域を全戸訪問して要望を聞き取ること、②センターで聞く青空市へ全国からの救援物資を無料で配布する(の手伝いの2つです。14日(木)からの活動は、次号で報告します。

短歌 勝田 鉄也

金箔の和紙八千を押し切れば 將に安堵の脈搏が打つ 踏押を仕上げて託す宅急便 今は着く頃クレームなきか